

広報

平成17年(2005)

し

11.15

第1573号

毎月1・11・21日発行
☎140-8715
品川区広町2-1-36

代表番号

☎3777-1111

http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/

な

12月4日～10日は
「人権週間」
です

が

人権週間
特集号

わ

人の温かき
家族のきずな
そして、人が輝くために

区では、平成5年4月に都内で唯一の「人権尊重都市品川宣言」を制定し、「人権尊重社会の実現」をめざして人権尊重思想の普及啓発に取り組んでいます。その一環として、12月1日に「人権週間記念 講演と映画のつどい」を開催します。今回は、女優の東ちづるさんがボランティア活動を通じて自ら学んだ人権の大切さをお話しします。

この機会にもう一度、人権について考えてみませんか。

昭和23年(1948年)12月10日、国連で「世界人権宣言」が採択され、その日を記念して12月10日は「人権デー」と定められました。

日本では、「人権デー」を最終日とする「週間」を「人権週間」としています。

人権とは、だれもが生まれながらにもっている権利であり、幸せに生きるために尊重しなくてはならないものです。わが国の憲法でも、すべての国民は法の下に平等であり、人種や性別、社会的身分などによって差別されないことや、教育を受けたり職業を自由に選ぶ権利があること、お互いの意思で結婚できることなどが保障されています。

人間は生まれながらにして自由であり、平等である。いかなる国や個人も、いかなる理由であれ絶対にこれを侵すことはできない。

幾多の試練と犠牲のもとに日本国憲法と世界人権宣言はこの人類普遍の原理をあらわし人権の尊重が国際社会の責務であることを明らかにした。

今日、我が国社会の実情はいまだに差別意識と偏見が人々の暮らしの中に深く根づき部落差別をはじめ障害者、女性、先住民族、外国人への差別などどれほど多くの人間が苦しんでいることが人間がつくりあげた差別は人間の理性と良心によって必ずや解消できることを我々は確信する。

平和で心ゆたかな人間尊重の社会の実現をめざす品川区は「人権尊重都市品川」を宣言し差別の実態の解消に努め人権尊重思想の普及啓発と教育を推進することをここに誓う。

(人権尊重都市品川宣言より)

人権週間記念

講演と映画のつどい

12月1日(木) 入場無料

午後1時30分～5時 (0時30分開場)
きゅりあん8階大ホール(大井町駅前)

- 定員 1,100人(先着)
- 参加方法 当日、会場へ
- 問い合わせ 人権啓発課☎3763-5391

●講演●
泣いて笑って ボランティア珍道中
～心豊かに自分らしく生きる～



東ちづる

講師/東ちづる (女優)

ライフワークとして続けている骨髄バンクやあしなが育英会、ドイツ平和村のボランティア活動によって感じた自分らしい生き方についてお話しします。

※手話通訳・要約筆記がつかえます。

●映画●
村の写真集



村の写真集

ダムに沈もうとしている四国のある村。村役場は、すべての家族を写真に収めることで村の美しさを永遠に残すことを考える…。

監督・脚本/三原光尋
写真監修/立木義浩
出演/藤竜也 海東健
宮地真緒 ほか
※要約筆記がつかえます。

問い合わせ/人権啓発課☎3763-5391

みんなまで考えてみませんか、人権のこと(第57回人権週間)

- 女性の地位を高めよう
- 子どもの人権を守ろう
- 高齢者を大切に育てよう
- 障害のある人の完全参加と平等を実現しよう
- 部落差別をなくそう
- アイヌの人々に対する理解を深めよう
- 外国人の人権を尊重しよう
- HIV感染者やハンセン病患者などに対する偏見をなくそう
- 刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
- 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- インターネットを悪用した人権侵害はやめよう
- 性的指向を理由とする差別をなくそう
- ホームレスに対する偏見をなくそう
- 性同一性障害を理由とする差別をなくそう

最近起きた人権侵害

～大量差別はがき事件～

区内に住む方を含む多くの同和地区出身者の自宅などに、15年5月以降、ひぼう・中傷・脅迫する内容のはがきや手紙が大量に送りつけられる事件が発生しました。その内容は同和地区出身者を攻撃するもので、被害者の自宅だけでなく、被害者の近所に住む方にもはがきなどを送りつける、被害者の名前をかたってハンセン病療養所などに差別的な手紙を送りつけるというように、次第に悪質になっていきました。

このような行為は、被害者の名誉を著しく傷つけ、生活を脅かし、精神的苦痛を与えるだけでなく、新たな差別を助長するもので、決して許されるものではありません。

16年10月19日、警視庁浅草署は容疑者を逮捕しました。東京地裁は、この事件で脅迫罪などに問われた都内在住の無職の男(34歳)に対し、懲役2年の実刑判決を言い渡しました。判決では「はがきなどに不当極まりない差別表現を記載した。生命を脅かすのはがきも送りつけられた被害者の恐怖心や精神的苦痛は大きい」と指摘しました(その後、この判決は確定しました)。



人権擁護委員協議会では、毎年小学校に「人権の花」運動への協力をお願いしています。

今年は第一日野・上神明・城南第二の3校の皆さんが「マリーゴールド」「ケイトウ」の種をまき、夏休み中も休まず水やりをし、花を咲かせました。

花を育てていくことと一緒に、友だちの和、命の大切さを学んで、思いやりのある子どもに育てられることと思います。

(人権擁護委員 海沼マリ子)

人権啓発ラッピングバス運行中

台場小学校の児童が「私の大切なひと」というテーマで描いた絵をもとにしたラッピングバスが12月31日(土)まで都内を走っています。

(主催/東京都人権啓発活動ネットワーク協議会)



昨年、区が実施した「人権に関わる意識調査」によると約80%の人が差別的な行動や発言をしたことがないと答えています。しかし、上の14項目について差別による人権侵害が存在するかどうか聞いたところ、ほぼすべての項目で約80%の人が存在すると答えています。この結果からみると、差別をする側と差別をされた側の意識の差が大きいと推測されます。

今私たちの周りには、女性・子ども・高齢者・障害者・同和問題などに対する偏見や差別が存在しています。様々な人権問題は、正しく理解し、行動をすることから解決に向かっていきます。

自分の心の中に差別や偏見がないか、この機会に改めて見つめ直してみましよう。

人権週間街頭キャンペーン 12月1日(木)午前11時から 大井町駅前

障害者の日・記念のつどい

12月4日(日)
午後1時～4時
(正午開場)
きゅりあん8階大ホール
(大井町駅前)

12月3日(土)～9日(金)は障害者週間です

区では皆さんの障害者福祉についての関心と理解を一層深めると共に、障害者が社会、経済、文化などあらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるため、「障害者の日・記念のつどい」を毎年開催しています。皆さんのご来場をお待ちしています。

- 第1部 記念式典 ～心身障害者表彰
- 第2部 「障害を乗り越えてパソコンを操る人たち」実演
- 第3部 ハンドベル・ジャズダンス・手話ダンス (出演: 障害者福祉団体、中国雑技芸術団ステージ、ものまねショー (出演: まねだ聖子、ゴジラ久山))



中国雑技芸術団

参加方法/当日、会場へ
※先着1,000人に記念品を差し上げます。
※手話通訳・要約筆記がつきます。
※ロビーで障害者団体や福祉施設の紹介、展示作品販売があります。
※障害者で送迎が必要な方、当日ボランティアとしてご参加いただける方は、11月25日(金)までご連絡ください。

●区内の障害児・者の作品展を同時開催します。出展希望の方は事前に連絡の上、11月25日(金)までに出品してください。なお、出品多数の場合は改めて展示方法についてご連絡します。

問い合わせ/心身障害者福祉会館 ☎3785-3322 Fax3785-3353

人権のひろば 2005

12月3日(土)～5日(月)
午前9時～午後5時
(5日は3時まで)
荏原文化センター
(荏原中延駅徒歩5分)

- ★小・中学生人権標語・ポスター展
- ★人権啓発パネル展

映画「父と暮せば」再上映会

5月の「憲法週間記念講演と映画のつどい」で上映しましたが、満員でご覧になれなかった皆さんの要望にこたえ再上映します。



おどろいたん、ありがとありました

日時/①3日午後2時から(1時開場)
②4日午前10時から(9時開場)
定員/各430人(先着)
参加方法/当日、会場へ

主演/宮沢りえ 原田芳雄
監督/黒木和雄 原作/井上ひさし

女性弁護士による女性のための相談

日時/3日①午前9時～正午 ②午後1時～4時
定員/各6人(先着)
申込方法/電話で男女共同参画センター☎5479-4104へ

人権擁護委員による人権身の上相談

日時/4日①午前9時～正午 ②午後1時～4時
定員/各3人(先着)
申込方法/電話で区民相談室☎3777-2000へ

家庭教育講演会

日時/5日午前10時～11時50分
内容/生にはすべて意味がある～小児医療の現場から
※手話通訳がつきます。
講師/高橋えみ子(小児科医)
参加方法/当日、会場へ
問い合わせ/生涯学習課☎5742-6836

男女平等推進フォーラム ハートフルしながわ2005 共生社会…未来へつなぐもの

11月26日(土)
きゅりあん1階小ホール
(大井町駅前)

このフォーラムは、性別にかかわらず自分の個性と能力を発揮できる社会の実現に向け、毎年開催しています。ぜひお越しください。問い合わせ 男女共同参画センター☎5479-4104

映画「ペアテの贈りもの」藤原智子監督作品

時間/午後1時～2時45分(0時30分開場)

シンポジウム「『ペアテの贈りもの』からみえてくるもの」

時間/午後3時～5時
コーディネーター/蟹瀬誠一(ジャーナリスト)
パネリスト/赤星たみこ(漫画家)、井上輝子(和光大学人間関係学部教授)、山田昌弘(東京学芸大学教育学部教授)

共通 定員/各250人(先着) 参加方法/当日、会場へ
共催/男女平等推進フォーラム ハートフルしながわ2005実行委員会
※車での来場はご遠慮ください。 ※手話通訳がつきます。